

「安全安心社会の為の Safety Service Engineering」(SSE 研究会)

社団法人日本機械学会産業・化学機械と安全部門第 15 回研究会・議事録

安全工学シンポジウム 2011、OS: Safety Service Engineering

2010 年 7 月 8 日 10:00-11:20、於：機械振興会館会議室

出席者：20 名

安全工学シンポジウムにおいて、OS:SSE を企画・開催し、4 名の発表を行った。

- G-1 Safety Service Engineering(SSE)の概念とその検証
～福島原発震災 2011 と情報の非対称性(SDP1)
加部隆史、NPO 安全工学研究所
- G-2 ホステージコントロールと SSE
小林 裕一、シュメアザール日本支社
危険な動きの際の機械停止後における人の危険区域への侵入と、
退出を管理する為の安全装置とその実例
- G-3 射出成型機に見る SSE の導入
岡村隆一、シュメアザール日本支社
機械のライフサイクルにおける設計段階の重要性と、
射出成型機における導入例とその効果
- G-4 安全 BSC を踏まえたリスクアセスメント手法の提案
白井安彦、NPO 安全工学研究所
機械のリスクアセスメントへのバランススコア・カード (BSC) 導入モデルの
提案とその検証

4 件の発表が行われたが、SSE 概念の新規制・独創性等については、特に質問は、
その提示方法に今後工夫が必要と感じられた。

記：加部隆史 2011 年 7 月 26 日